

聴覚障がい者情報発信 一般情報(3月号)

送信日	2021年3月1日(月) 法人HP http://www.kyoto-chogen.or.jp/
送信者	聴覚障害者生活支援センター は一もにい 発行責任者 内川 大輔
送信元住所	城陽市枇杷庄中奥田49-1 FAX 0774-55-5982 TEL55-5981

【城陽市・災害学習会が開催されました】



2月22日(月)10時から城陽市福祉センターにおいて「城陽市災害ボランティアセンターについて」の学習会がありました。この学習会は城陽市難聴者協会と城陽市ろうあ協会の合同企画で、社会福祉協議会の職員を講師に招き、難聴者、ろう者、要約筆記サークル、手話サークルのメンバー合わせて25名ほどが参加して行われました。

城陽市災害ボランティアセンターは災害が起きていない平常時から常設されており、災害ボランティア活動に対する体制整備や関係機関との連携調整、広報啓発を行っています。災害発生時には、災害ボランティアを受け入れ、被災者とボランティアをつなぐ役割を担います。平成30年7月豪雨災害時の活動の様子や、2月13日に発生した福島沖地震の例をあげ、コロナ禍での災害ボランティアについてもお話をいただきました。

参加者から「避難所で手話通訳や要約筆記の支援がすぐに受けられるのか?」「安否確認は電話だけでは難しい」「聴覚障害者に必要なシステムを作ってほしい」などの声上がり、社協職員からは「LINEやインターネットなどの新しい連絡方法が利用できるか、液晶掲示板など見てわかる情報伝達機材が調達できるか、など平常時から検討を進めていきたい」と回答がありました。

災害ボランティアは災害後すぐに支援できるわけではないので、まずは自分の身を守る備えが必要、日頃の近所づきあいでお互いの顔を知っておくことも大事とお話もありました。

また、先日難聴者協会とろうあ協会会員に配布された災害時用ビブスについて、「家にしまい込むのではなく、非常持ち出し袋に入れていざという時にすぐに使えるようにしよう」「避難訓練の時など積極的に着用して理解を広めよう」と参加者で確認しました。



【第47回耳の日記念集会配信について】

例年、京都府内から1000人の関係者が集まる「耳の日記念集会」ですが、コロナウイルスの影響で、集まることは止め、ユーチューブによる配信を行うこととなりました。

第1回目の配信は3月3日の予定です。

ユーチューブで「京都聴言ネットワーク」というチャンネルを検索してみてください。

【は一もにいサロンで交流しませんか ～難聴者のための情報サロン～】

日時:3月15日(月)午前10時~12時

場所:城陽市福祉センター 1階ホール

問合せ:は一もにい(担当:乾) FAX 0774-55-7708 電話 0774-30-9000



【城陽市委託事業「耳のこと何でも相談」のお知らせ】

〈聴力測定・相談〉完全予約制

日・場所:3月4日(木)青谷コミセン

時間:①10:30 ②11:30 ③13:30 ④14:30

申込先:京都府聴覚言語障害センター FAX 0774-55-7708 電話 0774-30-9000

